

(2) 公民館学級「長寿大学」でエル・ネット「オープンカレッジ」を活用した公開講座

～高度で専門的な学習ニーズに対する学習機会の提供～

エル・ネット高度化推進事業協議会
(千葉県我孫子市生涯学習センター)

1. 事業の概要

我孫子市公民館では、平成16年度文部科学省委託「エル・ネット高度化推進事業」に係わるモデル事業の実施にあたり、地域協力者、受講代表者等からなる「エル・ネット高度化推進事業協議会」を立ち上げ、公民館事業として実施している長寿大学の臨時カリキュラムの一つとして「オープンカレッジ」が提供する講座を集合学習に取り入れることにした。

本市の65歳以上の高齢者人口は、現在2万人を超え高齢化率は約16%である。今後においても高齢化が急速に進行していくことが予想される。このような高齢社会を迎え、高齢者の生活、健康問題、生きがいづくりや地域社会の参画のための学習講座の充実を図る必要がある。

また、科学技術の高度化、情報化、高学歴化、少子高齢化などが進む中で、私たちのライフスタイルの変化や価値観の多様化、物質的な面での豊かさに加え、精神的な面での豊かさや自己実現を求めることから、高度で多様な学習機会の提供をする必要が生じている。

このような多様化・高度化する市民の学習ニーズへの対応として、市民の学習ニーズを的確に把握し、大学、高等教育機関との連携を図り公民館事業の充実を図る必要がある。

モデル事業の実施にあたり、高度で専門的な学習ニーズに対する学習機会の提供をするため、現行の公民館事業である長寿大学の学習カリキュラムに「オープンカレッジ」を取り入れるテストをすることにより、他の学級及び講座にも活用できるか。また、市民へエル・ネットを知るきっかけをつくり、自己の学習に取り入れていかれるか分析、考察をする。

2. 事業の企画・実施

(1) 講座の企画

エル・ネット高度化推進事業協議会において、長寿大学生が学習しやすい内容である創価大学の『日常生活の人間学』①「日常生活と健康－運動そして食生活－」を選択した。

この講座は、「日常生活と健康」を考えるにあたり、食生活のあり方も視野に入れながら、健康についての基本的なアンケート形式による会場内の受講生とやり取りがあること、日常のなかで実践することができる身近な運動の実技があり、高齢者でも受け入れやすいことに在る。

本事業を実施するにあたっては、公開講座とし長寿大学生4年生及び一般市民に周知をした。周知方法は、長寿大学4年生の授業でPRし、一般には我孫子市の広報である「広報あびこ1月1日号」、市内公共施設及び掲示板にポスターの掲示及びチラシの配布、ホームページによる広報などで案内を行った。

(2) 講座の実施

会場は、我孫子地区公民館（我孫子市生涯学習センターアビスタ内）ミニホールで照明を少し落とし、大きなスクリーンや音響の良いオープンカレッジ収録会場と同じような臨場感のある場を作り出した。

講座の所々でコーディネーターが解説などを取り入れ、最後に受講者同士の意見交換の場を取り入れた。

ただし、講師に対しての質問については、質問用紙に記入をしてもらい後日質問者に回答することにした。



| | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成17年1月20日（木） 午前10時から午後0時30分 |
| 場 所 | 我孫子地区公民館 ミニホール |
| 対象者 | 長寿大学4年生及び市民 |
| 進 行 | コーディネーター |
| 内 容 | 創価大学 『日常生活の人間学』 ①「日常生活と健康－運動そして食生活－」 創価女子短期大学現代ビジネス学科長・教授 鈴木正敏 |
| 受講数 | 52人 |



3. 事業の成果・課題

(1) 事業の成果

多様化・高度化する市民の学習ニーズへの対応として、高度で専門的な学習を予算面などで低コストで提供することや大学との距離が短く感じることができ、今後の活用が期待できること。

長寿大学の学生や市民に対し、チラシ・ポスターや広報などによりエル・ネットを周知する機会ができた。また、ほとんど利用していなかったエル・ネットを職員、社会教育指導員が活用するヒント知ることができた。

今回視聴した内容のビデオを借用したいという要望がでたため、貸し出し用としてビデオを用意した。

(2) 事業の課題

受講者は講師と対面講座に慣れているため、大画面を使って映し出される授業に興味を感じるが、視聴時間が2時間程度だと目が疲れてしまい、集中力の維持が難しいようである。

オープンカレッジの内容をどのような対象を想定しているかを明確にし、それに沿った内容、放送時間帯を考慮し、番組の詳細を早い時期に把握できないと公民館の事業のカリキュラムとして取り入れていくことが難しい。また、過去の内容だと講師への質問ができなくなる。

講座を企画するうえで、視聴する画面が小さいと受講生の集中がなくなる危険性がある。また、場内を暗くするとメモをとることが出来なくなる。

エル・ネットで提供しているテキストの内容では、足りないという意見が多く寄せられた。

広報、ポスター、チラシなどでPRしたにもかかわらず、一般受講者の参加が11人と少なく、市民には浸透していないように思われた。

(3) 受講者の感想など

アンケートの内容から「わかりやすかった」が91%、オープンカレッジを「再受講したい」が96%などで今回の事業は好評を得たと思える。

テキストを受講後自宅などで体操をするために、図解や内容を詳しくしてほしいとの要望が多く寄せられた。

エル・ネットを知らないと答えた人が67%あり、今後のPRの必要性を感じた。

4. 今後の展望

今回当市で今後事業の中でオープンカレッジの高度で専門的な大学の講義を取り入れていけるかを懸案事項として実施したが、受信施設においてコーディネーターなどの補助的講師の配置が必要になると思われる。また、次年度以降学級、講座などで取り入れていくことを進めていきたいと考えている。

また、社会教育団体などが自ら講座を企画運営することがあった場合に、対応できるようオープンカレッジライブラリー的なものを整備するよう検討していく。

なお、受講者からの意見であったインターネットや通常のテレビ放送のような手軽に視聴できるシステムの開発を期待している。

(3) 集団学習の試み「エルネット・サロンで学ぶ」実施報告書

大阪市モデル事業実施委員会
(大阪市教育委員会事務局市民学習振興課)

1. 趣 旨

大阪市は、昨年はじめてエル・ネット事業を実施したが、「オープンカレッジ」の質の高さは相当なものであることを認識し、高齢者大学の補完的な事業として位置づけ、多くの参加を見たところである。

また、大阪市は、全国に先駆けて、小学校を拠点にして、地域の生涯学習を活性化するために生涯学習ルーム（296校）を開設している。そのルームでこのエル・ネット事業を展開できれば素晴らしいと考え、生涯学習推進協議会の区代表者会議（月1回）にこの趣旨を説明し、都島区で開催された（7月）都島区生涯学習ルーム連絡会に出かけて行ってエル・ネットの説明を行い、ようやく実施していただく学校を見つけることができた。当初予定をしていたようには行かなかったのは、現場に行くとなかなか説明が難しく（学校に対してエル・ネットの説明とオープンカレッジの説明が大変）、PTAと生涯学習ルームの活動をしている参加者の年齢の層の開きができ、生涯学習ルームの老齢化が進んでいたことがわかり、「絵本の読み聞かせ」のエル・ネット事業の狙いが外れていたために、ルームでの実施校が少なかったように思われる。

2. 集団学習会

(1) 生涯学習ルームでの学習会（地域まで出向いてのオープンカレッジ）

①テーマ：『親と子の読み聞かせ～子どもの心に金の鈴を～』

『幼児期は耳の時代～語る喜び、聞く喜び～』

②実施日時、場所、集団、受講人数

| 年月日 | 場 所 | 集 団 | 受講人数 |
|-----------|----------------|-------------|------|
| 平成16.12.8 | 東都島小学校(大阪市都島区) | P T A | 1 6 |
| 平成16.12.9 | 豊新小学校(大阪市東淀川区) | 絵本読み聞かせサークル | 1 6 |
| 平成17.2.10 | 本田小学校(大阪市西区) | 絵本読み聞かせサークル | 1 1 |
| 平成17.2.28 | 日吉小学校(大阪市西区) | P T A | 1 0 |

③学習形態：[ビデオソフト] + [集団学習]

④ビデオソフト：久留米信愛女学院短期大学公開講座（2002年収録講座）コピーソフト

(2) 総合生涯学習センターでの学習会

常盤大学、琉球大学、久留米信愛女学院短期大学、東京学芸大学のオープンカレッジを実施した。

3. 調査アンケート（4生涯学習ルームで行ったアンケートの集計）

(1) 受講感想

| 感想 | 人数 | % |
|-------------|----|-----|
| ① とてもよかった | 7 | 13 |
| ② よかった | 27 | 51 |
| ③ ふつう | 16 | 30 |
| ④ よくなかった | 3 | 6 |
| ⑤ とてもよくなかった | 0 | 0 |
| 合計 | 53 | 100 |

①とてもよかった、②よかったと答えた方々の改善提案

- 遠くに行って受講するのではなく、身近なところで受講できるということは、とてもよいと思った。でも一方通行のような気もする。質疑応答ができればよりよいと思う。
- 大変興味あるお話で色々参考になるところもあり、私自身の勉強となりよかったです。
- 親と子の関係の大切さや、母の言葉が“心に金の鈴”の言葉に感動しました。
- 手軽に先生方のお話を聞かせて頂けるのは有難いです。
- 身近な地域で、大学公開講座に参加できることが自分にとっては大変恵まれているなと思います。
- 一つの場所に集まってビデオを見る、それについて話し合うということは、集中して勉強できるよい時間を持てると改めて感じました。
- 幼児期の絵本の大切さが必要と考えていますので、とても良いと思いました。子供に感想を必ず問うということをしなないなど参考にしたいと思います。
- 興味のある内容だったので参加しましたが、参考になることがありました。今からでも実践しようかなと思っています。
- 今まで知らなかった事がわかり勉強になりました。
- 感じる思いと我が子を持った今感じる思いが交差して、子育ての難しさを実感した。
- なかなかお話を聞けない先生の貴重なお話を聞けるということは良かったです。ユーモアを交えて語っていただけなので印象深く聞くことができる。
- エル・ネットの公開講座で、そこまで行かないと聞けない先生方のお話が聞けましたことがとても嬉しく思います。これからも続けて欲しいと思います。

(2) 今後も「エル・ネット」事業に参加しようと思いますか？

| 区 分 | 人数 | % |
|-----------|----|-----|
| ① 参加してみたい | 22 | 41 |
| ② どちらでも | 28 | 53 |
| ③ 参加したくない | 1 | 2 |
| ④ 不 明 | 2 | 4 |
| 合 計 | 53 | 100 |

どのような内容を希望しますか？

①参加してみたい：と答えた方々

- 今、問題になっているもの・金だけを重く大切という風潮を見つめ直せるようなことを学びたい。
- 成長してしまった子供の育て方とか、心理の先生のお話し、老人との会話、埋もれている才能のあるお年寄りを発掘して講師に招く。
- 子供とのスポーツ系運動etc..絵etc（文化系）子供の悩み、対応、事故対策。
- 思春期の子供への接し方や、老後の楽しみ方や老人の方のこれからのあり方など。
- 今、不登校等人間関係で悩むことが多いので、精神的な面でのお話が聞きたいです。

②どちらでも：と答えた方々

- いつも一方通行だけでなく人と接して交流したい。
- 例えば、「絵本」の講座でもステップアップしたものとか、レベルがいろいろあればよいと思います。入門編はよくあるので。

(3) 講師に対する意見・疑問・提案・感想

- “母親”に対する責任への期待が大きすぎるように感じました。「現代」の親の役割（父親を含めた）と絵本の大切さを論じていただきたかった。
「感性を育てる」という意見には賛成です。
- 読み聞かせの語る楽しさ、聞く喜びを持つことによって、子供の感性も育つことの大切さがよくわかりました。
- 内容は良いが話し方が不鮮明。大学の先生の話は固くて面白くないと思われている。
聞かせる工夫が必要。
- ビデオに出てきた本を、いくつかお持ち頂けたらよかったですと思います。
- 講師のお話は良いと思いますが、聞き取りにくいのが残念です。
- 声が聞き取りにくかった。
- トータルコーディネーターが必要と感じる。
- 言葉が聞き取りにくい等はありましたが、おもしろい話もあってよかったです。
- お母さん方も大変忙しい（家事、仕事、育児）。特に仕事を持つ母親がほとんどです。父親と子供のつながり育児に絵本は手を出しやすいのではないのでしょうか。

(4) エル・ネットの衛星通信を使った学習方法について

- 双方向の講座ができれば良いと思います。講座内容をどのように選ぶのか、広く受講生の要望に基づいた学習内容を精選していただきたい。
- 質問をダイレクトにぶつけられないのが残念です。
- 色々なジャンルの講習が聞けたり、選べたりできるのは良いと思います。
- 簡単に受ける学習方法であるということがわかりました。
- ビデオを見るだけなら、家でゆっくり一人で観たいです。
- エル・ネットを通じて知らない事がわかったり、色々な面識のない方の話を聞けてすばらしいと思います。
- 1時間50分ずっと見続けるのはしんどいと思う。同時中継等で意見の交換等できれば、もっと良いと思う。
- 実際の講演とは違う広範囲の地域の学習ができて、今後も参加したい。
- 楽しかったです。これを自分の学校でどんな形でもっていけばいいかなあと考えています。
- ビデオの利用だったので、これからの活用方法がわからない。以前講演形式の講座をしたが人が集まりにくい。やはり、何かを作る、体を動かすなどがないと、話を聞くだけでは人が集まらないのが現状。

(5) まとめ

- ①受講者の64%が「とてもよかった」「よかった」と『「ビデオソフト」＋「集団学習」』を肯定している。否定組（よくなかった）は6%と僅少である。大半の者が当方式を受け入れている。「遠くに行って受講するのではなく、身近なところで受講できるということは、とても良いと思った。でも一方通行のような気もする。質疑応答ができたならよりよいと思う」という声にあるように課題を残している。
- ②41%の者が今後も参加してみたいと肯定し、参加したくないとの否定は2%と僅少。

最大多数派の『今後の参加・不参加が不鮮明の「どちらでも」』が53%に達しているのは、ビデオソフトの問題ではなく、集団学習運営方法に問題がある。「いつも一方通行だけでなく人と接して交流したい」「ビデオを見るだけなら家でゆっくり一人で見たいです」の声があるように、『「ビデオソフト」＋「集団学習」』に働きかける「トータルコーディネーター」の存在が求められる。実施をする前から、指摘をされていたのですがやはり、その通りになった。

4. 今後の課題

・ボランティア養成が必要

ボランティア養成講習会（「子どもの食育」を視聴）を実施したが、トータルコーディネーターとして残ってくれるかどうかは疑問で、科目ごとに整理も必要。生涯学習ルームとどのようにネットワークができるかどうか。また生涯学習推進員養成講座にエル・ネット事業を組み込んで、生涯学習推進員をトータルコーディネーターとして任用する。

・学習プログラムに組みこむ

大阪市立総合生涯学習センターでは、シティカレッジ事業の機能の一つとして高齢者大学

(60歳以上)を実施しているところから、エル・ネット「オープンカレッジ」の中の大学と連携して、講座のひとつとして来年からプログラムの中に組み込むこととする。

- ・生涯学習ルームでの活用

新年度の説明会（生涯学習ルーム）にエル・ネット「オープンカレッジ」を宣伝し、これまでの録画をしたチラシを配布し、活用を訴える。

以上3点ほど、今後の課題を列挙した。大阪市はエル・ネットの取り組みはまだまだ浅いが、生涯学習の裾野までの体系は出来つつあるので、いかにしてこのエル・ネットを活用し、プログラムに組み込むのか、を検討していけば、必ずや、生涯学習のネットワークが確立されると思われる。引き続きエル・ネットの事業を推進していきたいと考えている。